

	学校の規模			学校の配置・通学			小中一貫教育		
	メリット	デメリット	その他	メリット	デメリット	その他	メリット	デメリット	その他
南部地区 第二小学校	<p>①基本的には、一体型は、生徒の学び方を検討する中で考えるものではないかと思う。9年間で自分の進むべき道を選択するには、良い制度と考える。</p> <p>③校舎の規模からいっても小中施設一体型の生徒数、学級数が可能であると思えます。多くの先生で多くの生徒を見るというのが望ましいと思えます。</p> <p>④人数的には問題ないと思う。教職員のコミュニケーションも図れば親としては安心感が強い気がする。</p>			<p>②駒木や友田学区の子どもたちは二中より近くなるので、中学校の通学時間が短くなる。</p> <p>③青梅二中の校舎老朽化などを考慮すると、二小の新しい校舎が望ましいと私は考えてました。通学も全てを中心にあることから子どもたちの負担は軽減されると考えます。</p> <p>④どこの地域からも通いやすく大通りに面していること。施設・敷地も使いやすいと思う。給食室がある。</p>		<p>①教育委員会の考えは理解できる</p>	<p>②小中一貫校として小中学校の交流がうまれたり、行事が一緒にできれば楽しいし、刺激になる。</p> <p>学習面では一貫校の方が授業の進め方をコントロールしやすくなると思う。</p> <p>③8歳も離れたお兄さんお姉さんが同じ校舎にいることによって、小さな子どもたちの将来の展望になると思えます。その反面で小さな子ども達へ恥ずかしい人の身なりでの行動ができる子どもたちに成長するのではないかと考えます。</p> <p>教育面でも小中一貫教育になることによって成績向上に繋がるのではないかと思います。</p>	<p>②9年間同じ環境なので、友達とのトラブルなど解決しにくい。小学校卒業の区切りが感じにくくなり、なあなあで進学することになりそう。</p> <p>④行事の時の体育館使用率が上がり、体育の授業や集会、保護者会への影響はないのか？</p> <p>④20分休み中に、小学生が遊ぶことで中学生のテストや勉強の妨げにはならないのか。</p>	
友田小学校	<p>②学級が増えるという事は学校全体の生徒数が増えるということになるが、当然、人との付き合い方を自然と学ぶ事もできる。また、友情や仲間も沢山でき地元に残っているクラスメイトが一人でもいれば、青梅に戻ってくる生徒もいるであろう。運動会や校内の競技大会は、楽しいと思う。</p> <p>④教員の数が増え、手厚い教育が可能となる</p> <p>⑤どちらも丁度よいと思う</p>	<p>②クラスが、増えると学年全員の顔がわからない。</p> <p>④小中一貫になると学校の校庭等の広さが不足したり、備品にも課題が発生する。</p> <p>④小中の行事がタイトになる</p>	<p>⑥南部地区再編案A、B 規模的には同じ</p>	<p>②通学時間が、短くなる</p> <p>⑤中学校は近くなり、通学の負担が減る。</p> <p>⑥小中施設一体型が費用的に効果が期待できる。</p> <p>⑥長淵の自治会単位でみると、友田小、二小に通う子が分断されており、統合は地域の諸活動に対して望ましい。</p>	<p>①低学年の児童には二小まで徒歩で通うのは遠すぎると共に、安全面の確保が大変になる。仮に公共交通機関を利用するにしても適当な便が確保できるのか交通費はどうなるのか、結局、児童と保護者の負担が増えることに対する対策も必要と考えます。</p> <p>②中学校は、距離的に少し近くはなるが、吉野街道の交通量の多い中で、徒歩または自転車で通学するのは、危険が伴う。</p> <p>③友田から2中では自転車を使っても距離があるし、橋を渡らないといけない事等、交通便を考えたら2小への一体型小中一貫校は友田出身の子供にしたらいいと思う。</p> <p>⑤小学校が遠くなり、通学の負担が大きい。</p>		<p>①施設の維持管理費など固定費は、南部地区再編案Aよりも削減できると思われる。</p> <p>②中学校が第二小学校と施設一体になれば、通学時間が短縮される。</p> <p>②学校経費が節約できる</p> <p>⑤小・中の連携がはかりやすい、全体の人数が多くなる。</p> <p>⑥同じ地域の生徒達にとっても一体型の方が良さそう。</p>	<p>①小1から中3までが同じ施設で過ごすとなると、児童生徒間でこれまでには無かった問題が起きることも予想される。</p> <p>②中学生の悪い影響を受けてしまう事がある</p> <p>③小中学生が一緒になる事で、小学生がまだ知り得なくていい情報等が、子供達の中で先走りして大きな問題が起こらないかが心配。</p>	<p>⑤休み時間の校庭の利用など小・中のエリアを分けるかどうか</p>
第二中学校	<p>①将来に向けての教育という視点では、小中一貫教育は望ましいと思う。小学校、中学校と6.3制教育から一貫教育へ移行させることの理解を十分に行うことが必要と考える。</p> <p>②生徒数の減少、学校施設老朽化を考えると再編は止むを得ない。多くの仲間と共に学び、切磋琢磨できる環境は大事である。</p> <p>③望ましい規模を維持できるので良いと思う</p> <p>④学校の規模維持が図られる</p> <p>⑥学校の規模については適正だと思う</p>	<p>②友田小から通学距離が長くなり通学手段、不登校、いじめ等の配慮が必要である。施設一体型が先々の生徒数、施設効率等からして良い。</p> <p>⑦友田小と二小の統合は疑問、友田小低学年が二小への通学は非常に厳しい。統合であれば公共機関ではなくスクールバスを運行する。</p>	<p>⑦23区内（人口増加都市）と青梅市の状況と予測を考えると、東京都の基準を単純に用いていいのか。</p>	<p>①建物が一体となった小中一貫教育は周囲から見ても、教育改革がなされているとの認識は見えないと思う。</p> <p>②生徒数、施設老朽化等から再編配置は止むを得ない、クラス替え、クラブ活動の選択、様々な考えに触れる機会が多くなる等で良い。</p> <p>③二小の敷地、30分程度の通学は良いと思う。</p> <p>④二中の建て替えの必要がなくなる</p> <p>⑤駒木や友田学区の子どもたちは二中より近くなるので、中学校の通学時間が短くなる。</p>	<p>①現2小の建物に統合した場合、建物、グラウンド等は耐えられるか…等の問題があるのではないかと。</p> <p>②小中一貫校を目指すなら分離型は施設効率が悪い。通学手段、不登校、いじめに配置が必要である。</p> <p>③通学途中、歩道のない所があるので、安全確保が懸念される。</p> <p>④友田地区の児童の通学距離がかりすぎる。二小のグラウンドが狭い。</p> <p>⑥友田学区から見ると通学の負担がある。交通量の多い道路事情を加味する必要がある。</p>		<p>②一体型が良い。人口減少、生徒数減少、施設老朽化等考慮すると一体型です。</p> <p>③小中学生の交流の中で教えたり、教わったり子供達が色々幅広く学べる環境ができる。兄弟、近所の複数人と通うことができるので、低学年の場合は特に安心なのではないか。</p> <p>④中1ギャップの緩和や9年間の一貫教育が図られる</p> <p>⑤小中一貫校として小中学校の交流がうまれたり、行事が一緒にできれば楽しいし、刺激になる。</p> <p>学習面では一貫校の方が授業の進め方をコントロールしやすくなると思う。</p> <p>⑥小・中一体型だと連携はとりやすい</p>	<p>②残念ですが地域から二つの学校が無くなる</p> <p>③小中学生の間のトラブル等が生じないか心配</p> <p>④人間関係の固定化と教職員の連携、指導力が難しい。</p> <p>⑤9年間同じ環境なので、友達とのトラブルなど解決しにくい。小学校卒業の区切りが感じにくくなり、なあなあで進学することになりそう。</p> <p>⑥生徒数が多いため、グラウンドや特別教室の利用について調整が必要。</p> <p>⑦低学年児童を考えれば小学校と中学校の統合は疑問（中高であれば賛成）</p>	